中華民國郵政登記認爲第一類新聞紙類
中華民國三十一年八月二十九日印刷
中華民國三十一年八月三十日發行
（毎月三期　十日、二十日、三十日發行）

新民會報

王揖唐題

中華民國三十一年
八月三十日發行
第二〇〇號

發行所
北京西長安街
中華民國新民會中央總會

發行兼編輯人
陳宰平

印刷所・印刷人
新民印書局・村上秀雄

目次

△訓令……
爲通令擴大宣傳「東亞解放新國民運動」並準備實施由
爲制發確立分會活動爲基礎之勞務動員體制要綱由

資料 31.9.15 經研

訓令

新民會中央總會訓令第二三七號（新中總宣第二八五號）

令各直轄總會長

爲通令擴大宣傳「東亞解放新國民運動」並準備實施由

爲通令事查本會倡導經年之「東亞解放新國民運動」業已正式揭布除「東亞解放新國民運動實施要綱」另行制定頒發外合行檢同「東亞解放新國民運動綱要」隨令附發仰各該總會依照本綱要擴大宣傳準備實施並轉飭所屬一體遵照爲要此令

附「東亞解放新國民運動綱要」壹份

會長
副會長

中華民國三十一年八月二十二日

東亞解放新國民運動綱要

戰爭乃爲對一國民爲之嚴峻檢閱、換言之、爲對一國國民精神力之總檢閱而作決定之審判、自事變迄今、業逾五載、此間我中華民族所具之優點與劣點、均已暴露無遺。顧此五年有餘之中日事變、既已演變而爲東亞解放戰爭、吾人處此更新關頭、臨此非常危局、若仍故步自封、無何新的精神、何能擔負新的責任、完成新的使命、是以對於優點當愈益發揮、對於劣點當痛加改正、以最大之勇氣與決心革故鼎新、共作新民、東亞解放新國民運動之要義即在於此。

但本運動之本質如何、其推行原則與基本要領又如何、茲就以下次序、概作揭示

新民會中央總會訓令第二三七號（新中總宣第二八五號）

各直轄總會長ニ令ス

「東亞解放新國民運動」擴大宣傳並ニ實施準備ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本會ガ年來倡導セル「東亞解放新國民運動」ハ既ニ正式ニ開始サレタルニヨリ茲ニ東亞解放新國民運動綱要ヲ添附送附スルニ付該總會ハ本綱要ニ依據シテ擴大宣傳ヲ行ヒ實施準備ヲナスト共ニ夫々所管各機關ニ洩レ無ク移牒シ實施方ノ徹底ヲ期セラレタシ

追而「東亞解放新國民運動實施綱要」ニ關シテハ別ニ制定指示ス

會長
副會長

中華民國三十一年八月二十二日

東亞解放新國民運動綱要

夫れ戰爭は一國國民總員に對する俊嚴無比なる檢閱なり、換言すれば戰爭は一國國民精神力に對する總檢閱、決定的審判なり、顧みるに事變勃發以來已に五年有餘、此の間に在りて我等中國同胞の有する國民的長處と短處とは孰れも共に遮蔽假借するところなく白日下に露呈暴露せられたり。而も此の五年有餘に亘れる日華事變の進展するところ遂に轉じて今次東亞解放の大戰爭に及べり吾人は此の未曾有の新關頭に立ち、異常なる難關に對處せざるべからず、若し果して舊態依然何等の新精神なからんか、如何にして能く吾人の新責任を負擔し新使命を完うし得んや、長處は愈之を發揮すべく短處は當然補正せざるべからず、已に新精神とは謂ふも要は其の舊來の汚染を洗脱するを謂ひ、亦自らを新にするの一著意

一、「東亞解放新國民運動」之創擧

新民會於去年六月斷行機構改革人事刷新以來、爲求會理念之統一及會運動之展開起見、確定新民精神爲華北唯一之指導精神、新民運動卽爲新國民運動、此「新民精神」與「新國民運動」卽爲本會「理念」與「實踐」之基礎、本會經此決定以後特於去年八月召開地方幹部人員會議、在中央總會事務總部之指示要綱中、對此意旨加以說明、期使各級地方總會、會人員咸喩斯旨、本會製作三十一年度工作方案及經費概算之際、由會內各級幹部共同商擬三十一年度工作基本方針、此基本方針共分五項、而第五項之標題卽爲新國民運動、當經會內決定、自三十一年度起積極推行、並於去年十月由本會中央訓練處擧行地方敎化科長訓練、在訓練課程中將此「會工作之基本方針」詳細對地方敎化科長講說、俾能於三十一年度開始時、積極負起推行新國民運動之任務、至去年十一月間、南京中國國民黨擧行四中全會、國民政府汪主席在會議中亦提出新國民運動議案

自此不但華北、卽整個和平陣營人士均已注意及此、適値大東亞戰爭又已爆發・本會愈感新國民運動有展開之必要、且因三十一年度現已開始、故本會決定依據去年制定之會工作基本方針、及適應當前之時勢要求、作成新國民運動之指導綱領、以期實行、唯値此大東亞戰爭之進程中因鑑於華北在東亞解放戰中所處地位之特殊重要、故本會所倡導之新國民運動今後卽正名爲「東亞解放新國民運動」、（雖有時爲行文便利計、亦得簡稱「新國民運動」、但於標題及其他重要場合、則須標擧全名）

二、「東亞解放新國民運動」之本質

「東亞解放新國民運動」、乃以新民精神爲基礎、以東亞解放爲目標、關於第一點、所謂以新民精神爲基礎者、因新民精神爲華北唯一絕對之指導精神、故新國民運動、自當以新民精神新基礎、所謂新民精神、簡言之、卽日新又新之革新精神、與居仁由義之道義精神、唯其爲革新精神、故反對舊體制與舊秩序、唯其爲道義精神、故反對西方之自由主義共產主義與功利思想、新國民運動、卽以此種新民精神爲基礎、關於第二點、所謂以東亞解放爲目標者、因東亞解放、乃我東亞民族之共同要求、尤其自大東亞戰爭發生以來、東亞興亡、在此一戰、所以一切行事、均應以爭取東亞解放爲歸趨、在大東亞戰爭之進程中、鑑於中國

を謂ふに外ならず、換言すれば長處を益助長するの傍ら勇氣を以て自らの短處を自認し且之を矯正するに在り。殊に其の短處の甚しきものは最大の勇猛心を振作して之が掃蕩廓淸を斷行せざるべからず茲に東亞解放新國民運動を提唱する其の重點は即ち存して此の點に在るなり。

然らば問ふ。本運動の本質は如何、其の推行の原則は如何と、又問はん其の基本要領は如何に定めらるべきやと。以下順次之を示すべし。

（一）東亞解放新國民運動の創導

新民會は民國卅年五月機構の改組、人事刷新の斷行を契機とし、會理念の統一及會運動の展開を益積極化さんが爲に新民精神を以て華北に於ける唯一の指導精神となし、新民運動即ち新國民運動なりとの決定を見たのである。「此の精神」と及此「新國民運動」は即會の「理念」と「實踐」の基礎をなすものである。

會は之が決定後特に卅年八月地方主務者會議を召開し、中央總會事務總部指示とし、其の要綱に於て之が說明を加へ各級總會をして實施方を指令する所あり、同年九月民國三十一年度工作方案決定に際しては會內高級幹部內に於て討議檢討の結果卅一年度基本工作方針五項目を決定し其の第五項に新國民運動の展開を採擇する所あり即會としては三十一年度を期し積極的に本運動展開を確定したのである。

而して十月、本會の敎化科長訓練實施に當りては、其の課目の主題を此の決定せる會工作基本方針に基き詳細なる講議を與へ三十一年度を俟ちて新國民運動を積極的に展開すべき任務を負託せしめたのである。

南京側は中國國民黨四中全會を昨年度十一月に至り召開し汪主席は其の會議席上に於て計らずも亦之を提出せり、其の結果此の運動は單に獨り華北に止まらず全和平陣營內の人士間に異常なる關心を喚起し、而も時適々大東亞戰爭勃發するありて會は益々積極的なる本運動展開の必要を痛感するものである。

民國卅一年度たるや已に七ケ月を閱し會は昨年度意圖せる所と些少の間隔する所ありたるは甚だ遺憾とする所なるも會工作基本方針に依據し、且當面の時勢的要請に對し新國民運動指導綱領を作成し以て其の實踐を期せんとす。

大東亞戰爭の進展途上に於ける華北の占むる重要性特に東亞解放戰に於ける吾人の占むる使命を再認識し茲に本會は此の「新國民運動」を指導するに當りては今後正式には「東亞解放新國民運動」とし「東亞解放」を添稱せんとす。

但し文中之が使用は兎角行文の圓滑を缺く憾あり、時に「新國民運動」と略稱する場合あるは蓋し已むを得ざる所ならんも、標題或は其他重要なる個所に於ては此の全名を用ふるは勿論の事なり。

（二）「東亞解放新國民運動」の本質

本運動は新民精神を以て其の基礎と爲し、東亞解放を以て其の目的と爲す。

其の第一に所謂新民精神を以て基礎となす點に付解說せんに新民精神は謂ふ迄もなく「日新又新」なる革新精神たると

尤其是華北所處地位之重要、新國民運動適應此非常時期之需要、包括精神方面之總動員、與物質方面之總動員、務使華北民衆共同致力心物雙方之建設、發揮國民總力、以爭取大東亞戰爭之最後勝利、尤有進者、近年中國之舊體制、大體只是世界資本主義與共產主義之附庸體制、中國之舊思想、大體只是世界資本主義與共產主義之附庸思想、現今推行新國民運動、必須另求樹立新思想新體制、俾能適應大東亞戰爭之要求、完成東亞新秩序之建設

三、「東亞解放新國民運動」之推行原則

新國民運動之推行、需要官民一體、上下一心、在政會方面、須注意指導的活動、在人民方面、宜誘導自發的活動、例如關於教、保、養、之大政、人民在自發的活動方面、應體念政會之意旨、實行自治自衞、自肅、新國民運動須在指導的活動與自發的活動並行之原則下始能順利展開

再者：新國民運動不尚空談、注重理論與實踐之統一、須用理論以指導實踐、更須用實踐以充實理論、易言之、即須「知行合一」因此新國民運動第一須適合時代之要求、第二須切合人民之需要、如不適合時代之要求、即不必推行、如不切合人民之需要、即不易推行

四、「東亞解放新國民運動」之基本要領

新國民運動之意義、在於激發國民精神、革新國民生活、統一國民理念、完成國民組織。務使國民從事心物雙方之建設、以期發揮國民總力。根據此種意義、則新國民運動之要領約有左列六端：

一、忠國家、二、愛東亞、三、重道義、四、尙勤儉、五、負責任、六、守紀律

茲將此六大要領、分別加以簡明解釋如次：

一、忠國家——須知個體之自由與國家之自由爲不可分、泯除黨派階級、職業、地域等之私立偏見、齊一意志、集中力量、本大同團結之旨、以求樹立擧國一致之革新體制、因此對於以階級鬪爭爲目的之共產黨、應認爲係「國家」之罪人、而消滅之

二、愛東亞——須知國家之自由與東亞之自由爲不可分、中國之安危與東亞之安危爲不可分、故應發揚東亞民族之共同意識、團結東亞民族之共同力量、尤應與友邦日本協力、建

同時に亦「居仁由義」の道義精神にして實に華北に於ける唯一無二の指導精神なり。革新精神は以て共産主義、自由主義及功利思想に抗鬪反對せしむべし。

共の二に所謂東亞解放を以て目的と爲す點を概說せんに、東亞の解放こそは我等東亞民族共同の絕對的要求たり、特に大東亞戰爭勃發以來東亞の興亡は洵に此の一戰に係れり、一切の行動を擧げ、一切の行事を率ひて之を東亞解放の爭取に歸趨せしむべきは蓋し詳言を要ざるところなり。

我が中華民國、就中我等が華北が今次大東亞戰爭の進展途上に於て、特に重要なる任務と地位とに對處しあるに鑑みるとき、新に將に展開せんとする本運動たるや正に當に之をして此の非常時期の要請に即應せしめざるべからず、即ち精神總動員及物資總動員を敢行完遂し華北一億の民衆をして共同致力以て心物兩面の建設を達成し、其の總力を發揮せしめ以て大東亞戰爭最後の勝利を爭取するを要するのみならず更に進みて近世中國に於ける舊體制が世界資本主義及ひ共產主義の附庸思想に過ぎざるに鑑みるときは自今本運動の推行を通じ之等の舊體制舊思想を淸算し新思想新體制を樹立して以て大東亞戰爭が要請しある東亞新秩序の建設を完成せしむるの要を痛感するものなり。

（三）「東亞解放新國民運動」推行の原則

本運動を推行せんが爲には官民一體、上下一心を以て原則と爲す而して之が爲には政府並に新民會の兩方面に於て、其の指導的活動に任じ、以て國民の側に於ける自發的活動を誘導するを要し、民衆層に於て其の自發的活動を以て此の政會の意旨を體し自肅、自衞及自存の運動を實行するを要す。

此の指導的活動と自發的活動との調和を得んことこそ本運動が以て其の原則とするところなるのみならず夫が達成を俟ちて始めて本運動の圓滑なる展開て庶幾し得べし更に本運動は徒らなる空論を尙はず、重きを理論と實踐との統一に置き理論を以て實踐を指導し實踐を以て理論で充實せしめざるべからず、換言すれば「知行合一」を以て原則とす、斯くして本運動は先づ第一に時代の要求に適合す可く、第二には國民の要求に適應するものたるを要す、蓋し時代の要求に適合せざるものならんか之を推行するを要せず國民の必要に適應せざるものならんか之が推行は難かればなり。

（四）「東亞解放新國民運動」の基本要領

本運動は上述せる如く過去五年に亘る苦痛なる環境裡に餘すところなく露呈せられたる我等國民的精神力の實際情形に鑑み國民精神を昂揚し國民生活を革新し國民理念を統一し進んでは國民組織を完成し以て國民をして心物兩面の建設に從事せしめ依て以て國民總力の發揮を庶幾するに在り、此の意義に基き本運動の要領を考察すれば凡そ之を左の六項目に分類し得べし。

1 忠國家　2 愛東亞
3 重道義　4 尙勤儉
5 負責任　6 守紀律

設東亞新秩序、在東亞解放中求中國民族之生存

以上二端、爲統一國民理念之初基

三、重道義——崇尚東方傳統之德義精神、肅清自由主義個人主義之功利思想、滅私奉公、謀求全體幸福、更須明禮義知廉耻、培養富貴不淫、貧賤不移、威武不屈之精神

四、尚勤儉——「勤能補拙」、「儉以養廉」、故實行勤儉、不但可以節約物資增加生產、兼能改善風氣澄清吏治、在大東亞戰爭發生以後之今日、國民生活能勤儉化、庶能實行國民心力物力之總動員、以上二端爲振興國民精神之初基

五、負責任——人人均應有責任觀念、勇於任事、決不苟且偷安、敷衍塞責、尤須人人在其職責範圍以內、盡忠職守、以期從各部門致力國是、收分工合作之效

六、守紀律——中國至今未成爲現代國家、即由於國民之無組織、而國民之無組織、即由於不重視秩序與紀律、今後由個人以至於全體、一切均當紀律化

以上二端爲完成國民組織之初基

茲再將以上之解釋列表如下：

東亞解放新國民運動要領

一、忠國家
二、愛東亞
→ 統一國民理念之初基

三、重道義
四、尚勤儉
→ 激發國民精神之初基

五、負責任
六、守紀律
→ 完成國民組織之初基

←→

國民心物建設

上面橫劃之箭頭符號、表示互相連繫之關係、蓋此六要領與三目的、均直接間接具有連環性、不能截然劃分、故所謂「初基」云者、僅係「主要」之意、例如重道義與尚勤儉兩項要領、爲激發國民精神之初基、但其他四項要領、亦與激發國民精神具有關係、又國民若有新理念、新精神、新組織、是爲國民生活之全面革新、由此致力、即可完成心物雙方之建設

今此の六大要領の各項に付き簡單に之が解說を加へんに

1 忠國家

凡そ個體の自由と國家の自由とは不可分なる所以を認識し、黨派、階級、職業地域等の私利偏見を排除し、意志を統一し力量を集中し、大同團結を旨とし以て擧國一致、革新體制樹立を求む可きなり、故に階級鬪爭と一黨專制を其の目的とする共產黨の如きは國家の罪人として之を剿滅するを要す。

2、愛東亞

國家の自由と東亞の自由とは不可分にして中國の安危と東亞の安危亦不可分離たり、故に東亞民族の共同意識を發揚し東亞民族の共同力量を團結し特に友邦日本と協力以て東亞新秩序建設を完成し東亞の解放に於て中國民族の生存を求む可きなり。

以上二項は國民理念統一の基本なり。

3 重道義

東亞傳統の德義の精神を崇ひ、自由主義、個人主義の功利思想を明かにし、廉恥を知り「富貴にして淫せず、貧賤も移さず、威武にして屈せざる」精神を涵養すべきなり。

4 尚勤儉

「勤は以て能く拙を補ひ儉は以て廉を養ふ」なり、故に勤儉の實行は單に物資を節約し生產を增加せしむるのみならず更に氣風を改善し、吏治を清澄ならしむるべし、大東亞戰爭下の今日國民生活の勤儉化に於てこそ始めて國民の心的、物的動員を實行し得べきなり。

以上二項は國民精神昂揚の基本なり。

5 負責任

人は總て責任觀念を堅持し果敢に事を投じ斷じて偷安苟も敷衍塞責を許さず、人總て其の職責の範圍內に於ては盡忠職守以て各部門各々其の力を國是に致し「分工合作」の效を收む可きなり。

6 守紀律

我が國が今日に至りて未だに近代國家たる體制を樹立し得ざる所以のものは實に、國民の無組織に基因す、國民の組織なきは即ち秩序と規律とを重視せざるに因る、爾後は須く個人より全體に至る迄、均しく之が紀律化を圖るべきなり。

以上二項は國民組織完成の基本なり

今以上の解說を表示すれば次の如し

東亞解放新國民運動要領

1 忠國家
2 愛東亞
— 國民理念統一の初基

3 重道義
4 尚勤儉
— 國民精神高揚の初基

5 負責任
6 守紀律
— 國民組織完成の初基

←→

國民心物兩面に於ける建設

尚印の示す如く直接間接に相互關連性を有するは當然なり

新民會中央總會訓令第二三三號（新中總組第一六六號）

令 各直轄總會長

爲制發「確立以分會活動爲基礎之勞務動員體制要綱」仰卽遵照辦理由

爲令遵事查本會鑑於新時局之下華北勞務問題益形重要茲爲闡明本會勞務工作之根本方針確立勞務動員體制以謀勞工之組織動員起見特制定「確立以分會活動爲基礎之勞務動員體制要綱」隨令附發仰各該勞務工作重要省份從速選定重點縣整備分會機構先實施其重點縣以外各縣亦須於可能範圍內從速實行在實施之前省總會方面可酌量擧辦縣總會勞務擔當職員之訓練等準備工作並擬具全盤計劃呈候核奪關於農村分會設置勞務班之指導要領另行指示之除分行外仰即遵照辦理爲要此令

附發「確立分會活動爲基礎之勞務動員體制要綱」中日文各一份

會長
副會長

中華民國三十一年八月二十四日

「確立以分會活動爲基礎之勞務動員體制要綱」

第一 方針

本會爲適應新時局、發揮建設新秩序後防基地之華北、並確立自給自足經濟體制、使重要產業易於開發起見、乃與華北勞工協會保持密切連絡而謀確立、以分會活動爲基礎之勞務動員體制、籍以促進新秩序之完成

第二 基本原則

一、本會爲使勞務動員體制得以實施起見、乃明確指示勞務工作爲分會活動之一部、並指導分會、使其能自動積極、完成勞務動員之基本工作

二、完成華北勞務動員體制之基本方向有三：

1.確立勞務動員體制、裨使中、日、滿、蒙、重要產業開發計劃得以圓滑實施、對於華中、滿、蒙、方面所需之勞動力、尤應確立得以長期供給之體制

新民會中央總會訓令第二三三號（新中總組第一六六號）

令 各直轄總會長

「分會活動ヲ基礎トセル勞務動員體制確立要綱」制定送附ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本會ハ新時局下ニ於テ華北ノ勞務問題ノ益々重要ナルニ鑑ミ本會勞務工作ノ根本方針ヲ闡明シ勞務動員體制ヲ確立シ以テ勞工ノ組織動員ヲ計ル目的ヲ以テ「分會活働ヲ基礎トセル勞務動員體制確立要綱」ヲ制定送附ス依ツテ勞務工作ノ重要ナル各省ニ於テハ速カニ重點縣ヲ選定シテ分會機構ヲ整備シ且ツ重點縣以外ノ各縣ニ於テモ可能ナル範圍內ニ於テ速カニ實行相成度尙實施前ニ省總會ニ於テ全般ノ計劃ヲ中央宛送附裁決ヲ得ラレタク且ツ適宜縣總會勞務担當職員訓練等ノ準備工作ヲ行ハレ度シ

追而農村分會ニ於ル勞務班設置ノ指導要領ハ別ニ指示ス

會長
副會長

中華民國三十一年八月二十四日

「分會活動を基礎とせる勞務動員體制確立要綱」

第一 方針

會は新時局の要請に基き華北をして眞に新秩序建設の兵站基地たるの實を發揮し自給自足經濟體制の確立と重要產業の開發を容易ならしむるために華北勞工協會と密接に連繋を保持しつつ、會の分會活動を基礎とせる勞務動員體制の確立を計り、以て新秩序の完成を促進せしめんとす。

第二 基本要綱

一、會は勞務動員を可能ならしむる爲、分會活動の一分野とし勞工工作を明確に指示し、分會をして自主積極的に勞務動員の基礎的業務を達成せしむる如く指導す

二、華北に於て完成さるべき勞務動員の基本的方向は

イ 日滿華蒙重要產業開發計劃の實施を容易ならしむる爲の勞務動員體制の確立、特に對滿蒙中支向需要勞働力の恒久的供出態勢の確立

ロ 華北自體內に於ける重產業開發計

2.確立勞動力供給體制、以應華北重要產業開發計劃實施之需

3.調整農村勞動力、以爲再建新華北農業經濟之當前目標

以上三項宜基於相互關係、施以最合理之處理

三、使中、日、滿、重要產業之開發與華北農業生產能以適切接合

第三　實施要綱

一、爲處理勞務問題、對於農村、工場、鑛山等種種分會組織、及此等組織之運營指導、須堅持一貫之理念與方針

二、於農村分會內設勞務班、處理分會內之有關勞工業務

三、於工場、鑛山分會內設愛勞班以謀分會內有關勞務業務之適正化

四、縣（市）總會須明瞭其管內各分會勞工對項之實態、並處理分會提出之各種勞務問題、完成縣（市）本身諸種勞務施策、上級總會指示之各種勞務問題、以及華北勞工協會各地區辦事處所委託之各種問題

五、道（地區）省（特別市）中央各級總會常時須明瞭其管內勞工對象之實態。使上下適宜連繫且與華北勞工協會取得密切連絡、俾勞務動員體制得以實行、並謀勞工供給地之勞務管理之適正化

第四　實施要領

一、縣（市）總會在管內重要地域易於指導之分會、先設勞務班、漸次推及其他分會、施以同樣之指導

二、農村分會內有關勞工業務如次：

（一）組　織

於農村分會內設勞務班、直接擔當村落內勞工動員一切事項

勞務班以班長一名班員若干名組織之

（二）勞務班之任務

勞務班以村落之勞工動員爲主要任務

1.調查登記村落之勞動力

2.分類登記勞動力之供給能力

（以上按另紙之調查表調查登記）

3.勞動力之合理分配

4.力謀雇傭勞工之組織化與條件之適正

5.供給勞工時之團體契約事項

6.供出勞工之家族一切事項

7.勞工動員之宣傳活動等辦理此等任務之活動方針另加說明

（三）勞務班之運營方法：

勞務班受分會輔導員之指導援助、關於其擔當任務之運營、務期適應環境之需要

劃の實施に即應する積極的勞働力の供出態勢の確立

ハ　華北農業經濟の新たなる再編成に於ける農村勞働力の調整を當面の目標とす。

以上の四項は相關關係に於て最も合法的に處理するものとす。

三、日滿華重要產業開發と華北產業生產との吻合を適切ならしむ。

第三　實施要綱

一、勞務問題を善處するための農村、工場、鑛山等の各種分會の組織並に之が運營指導に關しては一貫せる理念と方針を堅持するものとす。

二、農村分會內に勞務班を設置し分會內の勞工關係業務を處理せしむ。

三、工場、鑛山分會內に愛勞班を設置し、分會內の勞務關係業務の適正化を計らしむ。

四、縣（市）總會は管內各分會の勞工對象の實態を明確にし且つ分會より提起さるる勞工諸問題並に縣（市）自體の諸施策完遂のための勞工問題と上級總會より示達さるる勞工諸問題及ひ華北勞工協會各地區辦事處の委囑に關する諸問題の處理を爲すものとす。

五、道（地區）、省（特別市）、中央各級總會は常時其の管內に於ける勞工對象の實態を明確にし、上下の連繫を適切にし、且つ華北勞工協會との連繫を密にし勞務動員を可能たらしめ、尙勞工供出地の勞務管理の適正化を計るものとす。

第四　實施要領

一、縣（市）總會は管內の重要據點にある指導容易なる分會に勞工班を設置せしめ逐次之を他の分會に及す如く指導するものとす。

二、農村分會內に於ける勞工關係業務概ね次の如し。

（一）組　織

村落內に於ける勞工動員に關する一切の事項を直接擔當する爲め農村分會內に勞務班を設置す。

「勞務班」の構成は、凡そ班長一名及び班員若干名とす。

（二）「勞務班」の任務

勞務班は、村落に於ける勞工動員を主要任務とし

1　村落に於ける勞働力の調查、登錄。

2　供出可能勞働力の分類登錄

（以上は別紙調查表に依るものとす）

3　勞働力の合理的配分

4　雇傭勞工の組織化と條件の適正化

5　供出の際の團體契約事項

6　供出勞工家族に對する一切の事項

7　勞工動員に對する宣傳活動等にして、此等任務遂行上の活動方針は別に示す。

（三）「勞務班」の運營方法

勞務班は分會輔導員の指導援助を受け、その擔當する任務の運營に關し、凡ゆる場合に對處し得る如く活動するものとす。

1　分會委員會の促進

1.促進分會委員會：

勞務班負責實行其決定事項、並向委員會報告其結果、尤須與縣事務部取得密切連絡

且關於自縣事務部下行事項、基於委員會之具體決定、迅速實行、不得遲誤

2.調査勞工動向：

勞務班須嚴密調査勞工動向、對於其希望移動、行狀、供給、歸農等狀況、努力悉知、不得遺漏

3.文字活動之活動化：

對村內勞工動員之正確調査及勞工動向之詳情爲動員村內勞工之基礎條件於分會及縣市務部應不斷報告、以展開文字活動、俾組織動員之際、不生障礙

三、工場鑛山分會內有關勞業務如次：

（一）組織

爲謀工場鑛山內之有關勞業務之合理於工場鑛山內設愛勞班

愛勞班以班長一名班員若千名組織之

（二）愛勞班之任務

愛勞班主要任務乃在促進改善工場鑛山內生產之勞務動員

1.確立、勞、資、機、一體之生命體

2.發揚愛勞精神、使技術與能力向上

3.以職場爲單位結成協助組

4.使認淸產業戰士之使命、並使其素質向上

5.主辦研究會、座談會等

以上各項之具體活動方針另加說明

（三）愛勞班之運營方法

愛勞班受分會輔導員之指導援助、其所擔當業務之運營、務使適宜於一切環境

1.促進分會委員會之活動、與農村分會之勞務班相同

2.調査勞工之動向

愛勞班嚴密調査勞工動向對於其希望移動、行狀、協助組之融合程度、職場之作業施設、以及家族狀況、努力悉知、不得遺漏

3.文字活動之活潑化

與農村分會之勞務班相同

四、縣（市）總會內勞務動員之具體方法如次：

（一）縣（市）總會自分會內召集擔當勞工業務之要員加以訓練然後設立勞務班（愛勞班）

（二）縣（市）總會事務部指導科擔當縣（市）內一切有關勞工動員事項

勞務班はその所管事項に關し、常に委員會の活動を要請し、その決定事項は責任を以て實行し、且つその結果は委員會に報告し、更に縣事務部との連繫を緊密になす。

又、縣事務部よりの下達事項に關しては、委員會の具體的決定に基き遲滯なく實行するものとす。

2　勞工者の動向調査

勞務班は、常に勞工者の動向を綿密に調査し、その希望、異動狀況、供出、歸農等の狀況に關し遺漏なく知悉する如く努むるものとす。

3　文書活動の活潑化

村落內勞工者の動員に關し基礎となるべきものは、其の正確なる調査及び動向の精密に有るに依り、分會並に縣事務部に對し間斷なく報告する文書活動を活潑になし組織的動員に際し支障なき如く留意するものとす

三、工場、鑛山分會內に於ける勞務關係業務次の如し。

（一）組織

工場、鑛山內に於ける勞務關係業務の適正を期するため工場、鑛山分會內に「愛勞班」を設置す

「愛勞班」の構成は、凡て班長一名及び班員若干名とす。

（二）「愛勞班」の任務

愛勞班は工場、鑛山內に於ける生產促進改善のための勞務動員を主要任務とす。

1　「勞」「資」「機」一體的生命體の確立

2　愛勞精神の昂揚に伴ふ技術並能力の向上策

3　職場別を單位とする協助組の結成。

4　產業戰士たる使命の自覺と素質の向上

5　研究會、座談會の開催

等なり、之等の具體的活動方針は別に示す。

（三）「愛勞班」の運營方法

愛勞班は分會輔導員の指導援助を受け、その擔當する任務の運營に關し凡ゆる場合に對處し得る如く活動するものとす。

1　分會委員會活動の促進

農村分會の勞務班の場合に準ず。

2　勞工者の動向調査

愛勞班は常に勞工者の動向を綿密に調査し其の希望、異動、行狀、協助組の融合狀況、職場に於ける作業施設の狀況、家族の狀況等に關し遺漏なく知悉する如く努むるものとす。

3　文書活動の活潑化

農村分會の勞工班の場合に準ず。

四、縣（市）總會に於ける勞務動員に關する具體的方法次の如し。

（一）縣（市）總會は分會內より勞工業務擔當要員を集め訓練を爲し後勞務班（愛勞班）を設定せしむるものとす。

（二）縣（市）總會事務部指導科は縣（市）內に於ける勞工動員に關する一

(三) 指導科考慮縣(市)內之治安狀況、農務之繁閑、天災、人禍、以及分會內容整備狀況、有無礦山、工場等事、指示各分會以適當任務、並輔導其活動

(四) 漸次推及管內全體

1. 調査登記勞動力
2. 分類登記勞動力之供給能力
3. 工資之漲落狀況
4. 縣(市)外移出勞動力之現狀、及在外地之狀況
5. 供給勞工之家族生活狀況
6. 勞工之思想原動力

以上各項須確實調査之

(五) 縣(市)總會須明瞭其管內之勞工狀況、以求適應於縣(市)內之各種施策、同時華北勞工協會有所委託時、應由分會供給之、並決定其雇傭條件供出者按地域別或分會別編成所需各班、以努力於組織化之進行、且此種組織須於到達就勞地、立刻即成作業單位、並對敵方之地下工作、使成思想上之堡壘

(六) 縣(市)總會須將其管內勞工動員可能數、及供給地供給條件等、報告上級總會

(七) 縣(市)總會須澈底訓練分會之勞務班長、勿使勞務動員發生障礙

(八) 對縣(市)內之工場礦山等、應使其努力組織、附近之住民給以工作、工場礦山與村落保持有機的關聯。

(九) 對工場礦山等所組織之分會、實現、勞、資、機、一體化、並謀增進其作業之能率、故對於發揚愛勞精神技術向上及關於勞動條件、勞務管理、福利施設之合理應加以指導

五、道(地區)省(特別市)中央各總會、須澈底指導其管內各級總會以期勞務動員之澈底完成。

(一) 前記總會須明瞭其下級總會之勞務動員業務之內容以整備其管內勞務動員體制

(二) 因天災人禍而發生之臨時勞動者時、應速報告中央總會、以處理其善後。

六、向產業方面動員時、並須訂立團體契約、使成有組織之服務、且須由新民會與勞工協會在場之下使分會與需要者之間締結契約。

七、勞務動員所需之活動資金、須與關係機關協定指示之

切の事項を擔當す。

(三) 指導科は縣(市)內の治安狀況、農務の繁閑、天災地變並に分會の內容整備の狀況、鑛山、工場の有無等に應じ各々其の分會に適合する任務を附與し其の活動を輔導するものとす。

(四) 而して逐次管內全般に涉り

イ 勞働力の調査、登錄
ロ 供出可能勞働力の分類登錄
ハ 賃金の變遷狀況
ニ 縣(市)外移出勞働力の現狀並に移出先の狀況
ホ 供出勞工家族の生活狀況
ヘ 勞工者の思想的動向

等を明確ならしむるものとす。

(五) 縣(市)總會は管內の勞工狀況を常に明確ならしめ縣(市)に於ける諸施策に對應せしむると共に華北勞工協會より供出に關し委囑ありたる場合は分會より供出せしめ之が雇傭條件を決定し、供出者は地域別又は分會別に所要の班を編成し之が組織化に努め、此の組織が就勞地に於て直ちに作業單位となり得る如く考慮し敵側の地下工作に對抗せしめ、思想的防壘たらしむべし。

(六) 縣(市)總會は常に其の管內の勞工動員可能數並に供出數、供出先、供出條件等上級總會に報告するものとす。

(七) 縣(市)總會は分會の勞務班長の訓練を徹底し勞務動員に支障無からしむる如く着意すべし。

(八) 縣(市)內の工場、鑛山等に對しては努めて其の周邊の住民を組織化し就勞せしめ工場、鑛山及村落とは有機的關係を保持せしむる如く着意すべし。

(九) 工場、鑛山等に組織せる分會に對しては、勞、資、機一體化を具現せしめ、作業能率の增進を計らしむるものとす。之が爲特に愛勞精神の昂揚及技術の向上並に勞働條件、勞務管理福利施設等の適正を期さしむる如く指導するものとす。

五、道(地區)省(特別市)中央各總會は各々其の管下に在る各級總會の指導を徹底し勞務動員の徹底を期するものとす。

(一) 前記總會は各々其の下級總會の勞務動員業務の內容を知得し常に其の管內の勞務動員を可能ならしむる如き體制に整備するものとす。

(二) 天災地變の爲め臨時的勞働者生じたる場合に速に中央總會に報告し善後處置を講ずるものとす。

六、產業部面への動員をなす場合は必ず團體契約を爲さしめ、組織的に就勞せしむるものとし之が締結に當りては新民會、勞工協會立會の下に分會と需要者との間に取極めを爲さしむるものとす

七、勞務動員のための活動資金は關係機關と協定の上指示す。

中華民國郵政登記認爲第一類新聞紙類
中華民國三十一年八月二十九日印刷
中華民國三十一年八月三十日發行
(每月三期 十日、二十日、三十日發行)
新民會報 通卷第二〇〇號
發行所 北京西長安街 中華民國新民會中央總會
印刷所 新民印書局
發行兼編輯人 陳等平
印刷人 村上秀雄